



平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 東亜バルブエンジニアリング株式会社
 コード番号 6466 URL <http://www.toavalve.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 真鍋 吉久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 飯田 明彦
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6416-1184

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	5,927	3.7	188	76.8	224	58.6	130	31.1
28年9月期第3四半期	5,716	△17.8	106	△83.1	141	△80.1	99	△84.3

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 228百万円 (311.9%) 28年9月期第3四半期 55百万円 (△92.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	57.66	—
28年9月期第3四半期	42.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	10,559	7,274	68.4
28年9月期	10,794	7,114	65.6

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 7,218百万円 28年9月期 7,075百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年9月期	—	15.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末と期末日を基準日と定めておりますが、期末日における配当予想額は現時点では未定であります。

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	△2.6	100	△59.5	140	△52.7	90	△61.2	38.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年9月期3Q	2,678,600 株	28年9月期	2,678,600 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年9月期3Q	411,187 株	28年9月期	410,856 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年9月期3Q	2,267,558 株	28年9月期3Q	2,334,340 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年10月1日から平成29年6月30日まで）におけるわが国経済は、依然として海外経済の不確実性からくる影響に留意しつつも、好調な企業業績や雇用・所得環境の改善傾向を背景に、緩やかな回復基調の中で推移いたしました。

当社グループは、原子力・火力発電所用バルブの製造とメンテナンスを主な事業としておりますが、東日本大震災の津波による東京電力福島第一原子力発電所事故以降、基盤事業である原子力発電所（以下、「原発」）定期検査工事案件が激減したことから非常に厳しい事業運営を余儀なくされております。しかし、大阪高裁が3月に関西電力高浜原発の運転差し止めの仮処分決定を取り消したことで、5月には同原発4号機が、6月には同じく3号機がそれぞれ再稼働し、この結果、稼働中の原発は3か所5基となりました。一時のことを思えば状況は随分と改善し、今後、関西電力大飯原発3・4号機、九州電力玄海原発3・4号機がそれぞれ再稼働するものと想定されることから、更なる事業環境の改善が進むものと考えております。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間におきましては、九州電力川内原発の再稼働後最初の定期検査工事、今後再稼働を予定する原発向け再稼働準備工事を中心とした原発関連案件に加え、火力発電所のバルブ保守・補修需要に由来する、取替用バルブ・部品の製造及びメンテナンス工事等のバルブ事業を中心に、製鋼事業、除染事業の更なる拡大を図ることで、当期業績予想値と中期経営計画のマイルストーン達成に向け全力で取り組んでまいりました。

しかし、原発の再稼働が実現してきたことで、再稼働準備のための特需的な案件は徐々に減少し、火力発電向けも、超々臨界火力発電の建設計画減速等々で大型案件が乏しくなると共に案件数も減少気味であったことなどから、当第3四半期連結累計期間の売上高は59億27百万円（前年同期比3.7%増）に留まりました。

採算面においても、いまひとつ収益が伸び悩む中であって、工場操業度維持等のための不採算案件受注で新規の受注損失引当金繰入が増加するなど非常に厳しい状況となりましたが、比較的採算性の高い原発関連とメンテナンス関連の収益が拡大したことに加え、引き続き生産が高水準に推移したことでのた卸資産が増加した結果、営業利益1億88百万円（前年同期比76.8%増）、経常利益2億24百万円（同58.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億30百万円（同31.1%増）と、それぞれ増益となりました。

報告セグメント別の状況は、バルブ事業では前述のとおり、九州電力川内原発向け定期検査工事のほか、北海道電力泊原発3号機中間点検工事、関西電力大飯原発の再稼働準備関連工事など、原発関連売上がバルブ事業の売上高の半分弱を占め、加えてバルブメンテナンスをはじめとした役務提供関連売上が中心となったことから、売上高は45億39百万円（前年同期比5.7%増）、セグメント利益は7億42百万円（同14.2%増）となりました。

製鋼事業は、鋳鋼業界の状況が年々厳しさを増す中であって、その影響が徐々に業績に顕れはじめており、売上高は8億89百万円（前年同期比15.6%減）に留まりました。

採算面でも物量の減少からくる過当競争で市場価格は下落している状況から、セグメント利益は1億12百万円の赤字（前年同期は75百万円の赤字）で損失額は増加しました。

除染事業においては、被災地の避難指示区域が徐々に解除されていることに伴い大型案件が減少する状況にありますが、ここまでのところは、売上高は5億5百万円（前年同期比37.1%増）、セグメント利益は63百万円（同167.5%増）で増収増益となりました。しかし、セグメントの事業規模は縮小傾向にあることから、今後、福島原発の廃炉関連事業への取り組みをより強めていく方針です。

表：報告セグメント内の種類別売上高

報告セグメント	種類別の売上高	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (%)
バルブ事業	バルブ(新製弁)	840	1,196	42.2
	バルブ用取替補修部品	960	723	△24.7
	原子力発電所定期検査工事	528	1,001	89.7
	その他メンテナンス等の役務提供	1,963	1,617	△17.6
小計		4,293	4,539	5.7
製鋼事業	铸鋼製品	1,054	889	△15.6
除染事業	地域除染等	368	505	37.1
消去又は全社		—	△6	—
合計		5,716	5,927	3.7

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産残高は105億59百万円で、前連結会計年度末に比して2億34百万円減少しました。営業債権の回収により受取手形及び売掛金が7億52百万円減少したものの、銀行借入金の返済、たな卸資産の増加などにより現金及び預金の実質的増加(現金及び預金と有価証券の合計の増加)が2億50百万円に留まったことによるものです。

なお、現金及び預金が7億39百万円減少しているのは、当座の余剰資金を短期の有価証券で運用しているため、現金及び預金と有価証券の合計での比較では、先に記したとおり2億50百万円の増加となっております。

負債残高は32億85百万円で、前連結会計年度末に比して3億94百万円減少しました。銀行借入金の約定弁済による減少が4億18百万円あり、これが主な要因です。

純資産の残高は72億74百万円で、主にその他有価証券評価差額金が株価の上昇により増加したことなどにより、前連結会計年度末に比して1億59百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間までの、平成28年11月10日に「平成28年9月期 決算短信」で公表した予想値の達成状況は下表のとおりです。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
平成28年11月10日公表値	8,300	100	140	90
当第3四半期連結累計期間	5,927	188	224	130
達成割合	71.4%	188.7%	160.4%	145.3%

売上高は予想値の75%に達しておらず、現在の受注状況に基づく第4四半期連結会計期間の売上計画から見て、予想値の達成は厳しい状況にありますが、未だ時間的には短納期品の受注による上積みも可能な状況であることから、これまでの想定を維持いたします。

利益については、第2四半期連結累計期間で既に達成している状況ですが、第4四半期連結会計期間に不採算案件の受注を予定しており、これによる受注損失引当金の新規計上で採算悪化を見込んでいます。しかし工場の操業度は安定していることから期末のたな卸残高の増加を見込んでおり、これらを全体的に見た上での損益想定は、依然難しい状況にあることから、これまでの想定のままいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,642,646	2,903,304
受取手形及び売掛金	3,155,870	2,403,006
有価証券	10,031	999,918
商品及び製品	99,898	113,187
仕掛品	1,037,099	1,266,299
原材料及び貯蔵品	709,028	745,750
その他	80,314	79,898
貸倒引当金	△6,000	△3,021
流動資産合計	8,728,889	8,508,343
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	368,557	344,914
機械装置及び運搬具(純額)	567,458	485,684
土地	261,363	261,363
その他(純額)	88,109	109,078
有形固定資産合計	1,285,488	1,201,040
無形固定資産	177,958	155,162
投資その他の資産		
投資有価証券	546,310	641,761
その他	67,169	63,196
貸倒引当金	△11,544	△10,022
投資その他の資産合計	601,935	694,934
固定資産合計	2,065,382	2,051,137
資産合計	10,794,271	10,559,481
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	744,400	621,397
短期借入金	10,000	—
1年内返済予定の長期借入金	538,300	395,842
未払法人税等	7,503	56,758
賞与引当金	290,952	135,252
役員賞与引当金	14,914	—
受注損失引当金	396,179	606,516
その他	328,966	354,442
流動負債合計	2,331,216	2,170,209
固定負債		
長期借入金	379,414	113,772
繰延税金負債	65,525	95,030
P C B 処理引当金	18,160	18,160
退職給付に係る負債	764,991	759,067
その他	120,458	129,179
固定負債合計	1,348,550	1,115,210
負債合計	3,679,766	3,285,420

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,739,559	1,739,559
資本剰余金	2,019,967	2,019,967
利益剰余金	3,857,249	3,919,857
自己株式	△682,885	△683,284
株主資本合計	6,933,890	6,996,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174,974	241,419
為替換算調整勘定	7,205	14,856
退職給付に係る調整累計額	△40,245	△34,298
その他の包括利益累計額合計	141,934	221,976
非支配株主持分	38,680	55,983
純資産合計	7,114,505	7,274,060
負債純資産合計	10,794,271	10,559,481

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,716,984	5,927,429
売上原価	4,522,149	4,615,094
売上総利益	1,194,835	1,312,335
販売費及び一般管理費	1,088,151	1,123,673
営業利益	106,684	188,661
営業外収益		
受取利息	2,944	985
受取配当金	13,399	17,657
補助金収入	11,333	4,887
雑収入	18,361	18,362
営業外収益合計	46,039	41,892
営業外費用		
支払利息	10,583	5,334
雑損失	504	602
営業外費用合計	11,088	5,936
経常利益	141,635	224,617
特別利益		
固定資産売却益	962	957
特別利益合計	962	957
特別損失		
固定資産処分損	6,163	13,137
ゴルフ会員権評価損	4,325	—
特別損失合計	10,489	13,137
税金等調整前四半期純利益	132,107	212,436
法人税、住民税及び事業税	21,799	62,863
法人税等調整額	3,297	1,516
法人税等合計	25,096	64,380
四半期純利益	107,011	148,056
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,258	17,302
親会社株主に帰属する四半期純利益	99,753	130,753

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	107,011	148,056
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53,186	66,444
為替換算調整勘定	△3,498	7,650
退職給付に係る調整額	5,053	5,947
その他の包括利益合計	△51,631	80,042
四半期包括利益	55,379	228,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,121	210,796
非支配株主に係る四半期包括利益	7,258	17,302

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	バルブ事業	製鋼事業	除染事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,293,673	1,054,670	368,640	5,716,984	—	5,716,984
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,293,673	1,054,670	368,640	5,716,984	—	5,716,984
セグメント利益又は損失(△)	649,998	△75,466	23,828	598,360	△491,676	106,684

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△491,676千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	バルブ事業	製鋼事業	除染事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,532,187	889,884	505,358	5,927,429	—	5,927,429
セグメント間の内部売上高又は 振替高	6,903	—	—	6,903	△6,903	—
計	4,539,090	889,884	505,358	5,934,332	△6,903	5,927,429
セグメント利益又は損失(△)	742,418	△112,028	63,736	694,126	△505,465	188,661

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△505,465千円には、セグメント間取引消去5,400千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△510,865千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。